

令和3年 12月定例会

令和3年12月定例会は11月30日から12月21日までの22日間の会期で開かれました。市長提案等は条例10件、補正予算6件、都市計画マスタープランの策定1件、人事案件1件の合計18件でした。審査の結果、17件については原案の通り可決・同意されました。1件については、修正案及び修正部分を除く原案が可決されました。

一般質問は13人の議員が市政をただしました。

定例会の 主な提出議案

(議案第88号)
令和3年度一般会計補正
予算(第6号) 及び
(議案第89号)
令和3年度一般会計補正
予算(第8号)

子育て世帯(所得制限あり)への臨時特別給付金は、0歳から高校3年生の子どもたち一人当たり10万円の給付を行う事業で、5万円を現金で、残り5万円をクーポン券で給付すると

なっていました。この現金5万円の給付は、議案第88号予算に計上されました。

その後、国はクーポン給付となっていた5万円を現金給付も可能との方針を示したため、幸手市は一括現金給付とするため、議案第89号が追加で提出されました。

また議案第89号には、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、厳しい経済状況にある方の生活を支援するための取組みとして、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金、一世帯当たり10万円の現金給付が計上されています。

両議案とも原案のとおり可決されました。

市長提案の条例案を 一部修正し、可決成立

(議案第77号)
押印及び署名の見直し
に伴う関係条例の整備
に関する条例

条例案のうち幸手市職員の職務宣誓に関する条例及び職員の仕事の宣誓に関する条例において、市長提出の条例案は、宣誓書の署名及び押印を省略。これに対し修正案は、押印のみ省略し、署名は残すというものです。



人事案件

監査委員

内田 潔 氏

を選任することに同意しました。

今年も
よろしく
お願い
いたします



議長

宮杉 勝男

副議長

小林 啓子

議員（議席順）

四本 奈緒美
坂本 達夫
海老沼 隆夫
小林 英雄
枝久保 喜八郎
本田 謡子
小河原 浩和
松田 雅代
木村 治夫
藤沼 貢夫
青木 章
武藤 壽
大平 泰二



幸手市議会議長
宮杉 勝男

市民の皆さまにおかれましては、新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃から幸手市議会に對しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

今もなお収束をみない新型コロナウイルスの影響により、昨年は市議会としても行動の自粛を余儀なくされ、とても心残りの年でありました。

今後も、感染症対策を万全に期した上で、開かれた議会を目指し、市民の皆さまの声が市政に反映されるよう、鋭意努めてまいります。

結びに、本年が皆さまにとりまして幸せで実り多い、希望に満ちた年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



幸手市長
木村 純夫

市民の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より市政運営に格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年より、皆様から多くのご要望をいただいております。市内循環バスの運行が始まりました。また、新型コロナウイルスワクチンの三回目の接種も始まります。

市では、引き続き、新型コロナウイルス対策をはじめ、教育・子育て・医療・福祉・防災等の各事業を、積極的に実施し、未来志向のまちづくりを推進しております。更なるお力添えをいただければ幸いです。

結びに、皆様にとって、充実した一年となりますようご祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和3年12月定例議会
本会議議案質疑内容

（議案第77号）

押印及び署名の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例

質疑

新たに職員となった者が行う宣誓書への署名押印を不要とする根拠と是非について伺います。

答弁

押印及び署名などの見直しは、国主導のもと、地方公共団体等において業務における押印制度の見直しが進められています。服務の宣誓はあくまで、新たに職員となった者に対し、公務員は全体の奉仕者として服務義務が課せられる事を自覚させるため、職員の宣言として行う行為であり、宣誓書に署名押印する行為はなくても、本人から任命権者に宣誓書が提出されたという行為をもって本人の意思を確認できることから、条例上の署名を義務づけることについて実質的な必要はないと判断したものです。

(議案第84号)
令和3年度幸手市一般
会計補正予算(第7号)

質疑

衛生費の中の保健衛生費、第2目の予防費の補正額5億3533万9千円と、新型コロナウイルスワクチン3回目接種の予定、計画を伺います。

答弁

今回の補正予算は、3回目接種に係る費用のほか、12歳以上の1、2回目の接種に係る費用も計上しています。

ワクチン接種期間が令和4年9月まで延長されていますが、令和3年11月までに2回目の接種を終えた方については令和4年7月までに3回目の接種を受けられるよう準備を進めています。なお、対象人数は11月30日時点で4万75人です。具体的な計画ですが、12月・1月の接種対象者は約380人、主に医療従事者の方となります。2月には7300人、3月に約1万5000人、4月に約29000人、5月に約9500人、6月に約7500人、7月に約2千人の接種を見込んでいます。また、接種券については、2回目の接種日から8ヶ月を迎える前

の月に送付し、対象者が多い月には予約時の混雑を緩和するため、2回目の接種日の早い方から順次発送することを検討しています。幸手市は2回目の接種率が約90%と多くの方が2回目の接種を受けております。希望する方が一日でも早く接種が受けられるよう、今後も準備を進めてまいります。

(議案第89号)
令和3年度幸手市一般
会計補正予算(第8号)

質疑

臨時特別給付金の家計急変世帯の確認や認定の方法を伺います。

答弁

令和3年度住民税が課税世帯であるが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和3年1月以降非課税世帯と同程度となった世帯に対し、申請の際に1か月の収入がわかる書類を添付してもらい審査いたします。



(議案第78号)
幸手市職員の勤務時間、
休日及び休暇に関する
条例の一部を改正する
条例について

賛成討論

四本 奈緒美

令和4年4月から不妊治療への保険適用が実施されます。公明党は20年以上にわたって不妊治療の保険適用に取り組んで来ました。

今回の条例改正は、幸手市職員の、妊娠・出産・育児等と仕事の両立を支援するため、特別休暇として不妊治療休暇を新設するものです。

幸手市職員の不妊治療休暇取得の取り組みが、民間企業等へと拡大していくことを期待し、賛成討論と致します。

(議案第83号)
第2次幸手市都市計画
マスタープランについて

賛成討論

坂本 達夫

第2次都市計画マスタープランは、20年後の幸手市を見据えた都市計画です。西口停車場線は、幸手駅西口と幹線道路をつなぐ重要

な路線です。道路が結ばれることにより、幸手駅西口が利用しやすくなり、賑わいをもたらします。都市計画道路惣新田幸手線バイパスは、圏央道幸手インターチェンジと国道4号バイパスをつなぐ重要な路線です。この道路は、幸手の観光、経済、産業の活性化に深くつながります。これらの構想を実現し、幸手市の着実な発展を願います。賛成討論と致します。

(議案第89号)
令和3年度幸手市一般会計
補正予算(第8号)について

賛成討論

枝久保喜八郎

国の全額補助により実施される18歳以下の子ども一人10万円の子育て世帯への臨時特別給付金は、3つの給付方法からの選択が各自治体に委ねられました。

幸手市では多額の事務経費を要するクーポン及び年を跨ぐ分割給付ではなく、現金10万円の12月27日一括給付を決定しました。

年内の厳しい作業日程にはなるものの、子育て世代を対象とした福祉的観点に配慮した決断は、市民の想いに寄り添うものと大いに評価いたします。